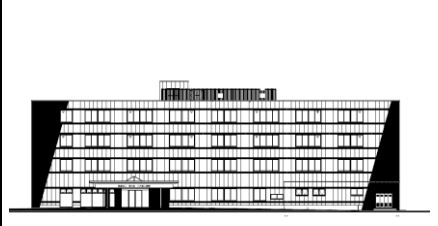


CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要			■ 外観	
建物名称	医療法人 敬仁会 八代敬仁病院	階数	地上4F	
建設地	熊本県八代市海士江町字湫2817.他	構造	S造	
用途地域	都市計画区域内(区域区分非設定)	平均居住人員	200 人	
気候区分	7地域	年間使用時間	8,640 時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2019年8月3日	
敷地面積	9,914 m ²	作成者	西岡 美佐	
建築面積	1,982 m ²	確認日	2019年8月3日	
延床面積	6,380 m ²	確認者	伊東 正太郎	



1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

環境品質 Q

環境負荷 L

BEE = 1.1

■ BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★★
30%超60%以下	★★★★★
60%超80%以下	★★★★
80%超100%以下	★★★
100%超	★

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)

★★★★★

排出率

82%

2 熊本県重点評価結果

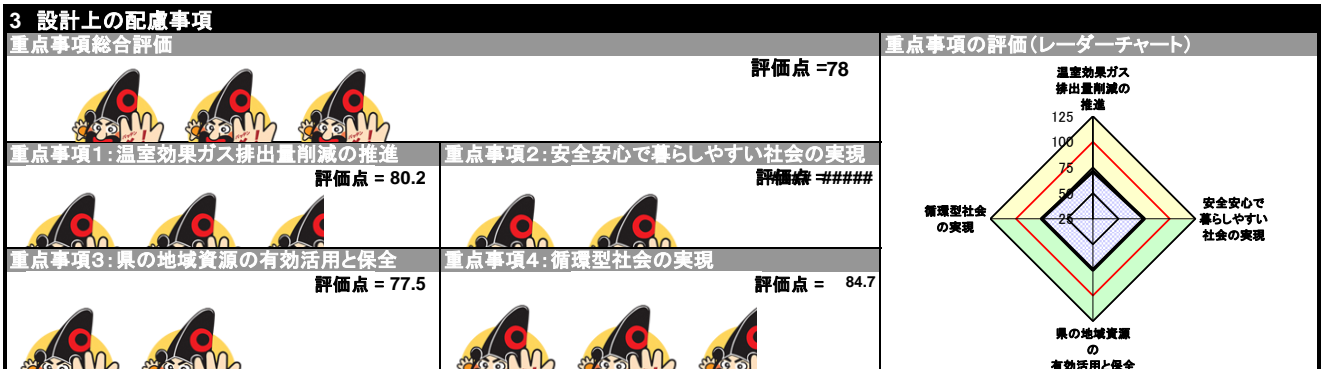
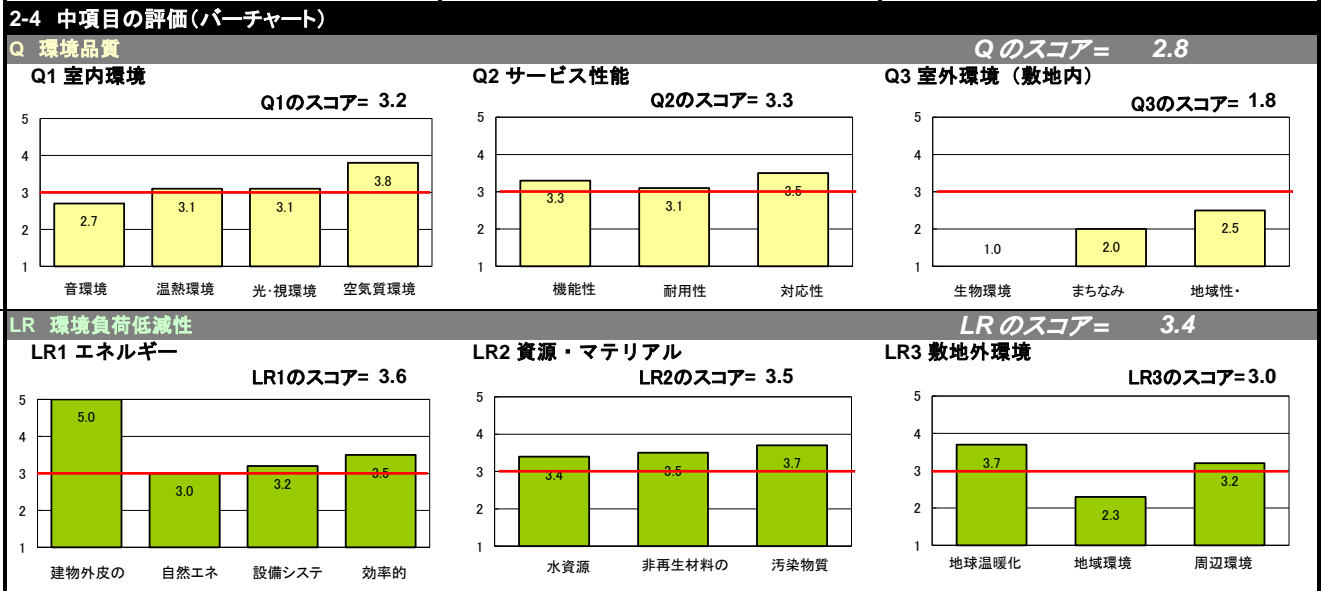
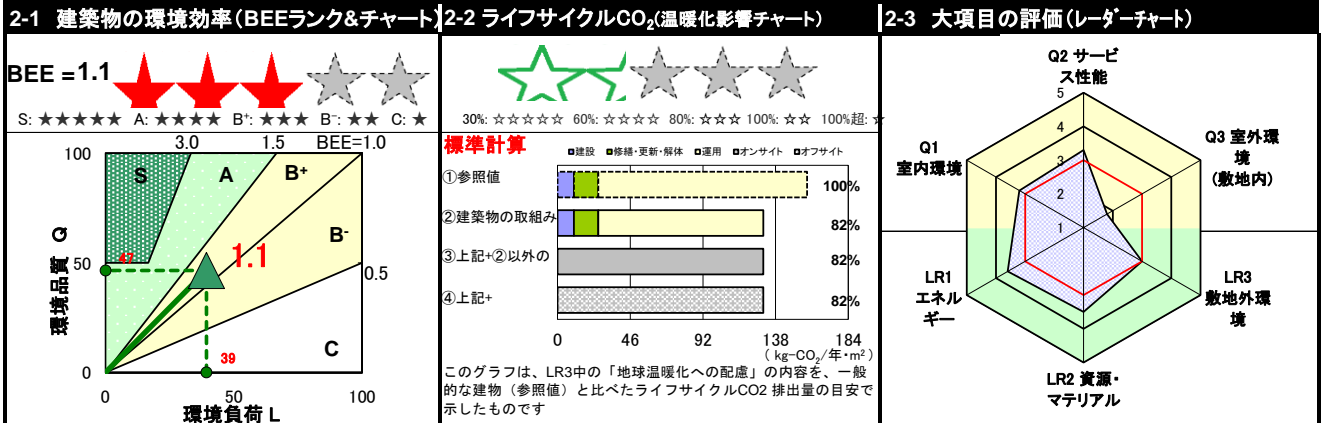
■ 重点事項総合評価		評価点												
		78												
<p>【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進</p> <p>【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現</p> <p>【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全</p> <p>【重点事項4】 循環型社会の実現</p>	<p>評価点</p> <p>80.2</p> <p>67.5</p> <p>77.5</p> <p>84.7</p>	<p>■ 熊本県重点評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価点は、100点以上が推奨です。</p>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人 敬仁会 八代敬仁病院	階数	地上4F
建設地	熊本県八代市海士江町字秋2817,他	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(区域区分非設定)	平均居住人員	200 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,640 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2019年8月3日
敷地面積	9,914 m ²	作成者	西岡 美佐
建築面積	1,982 m ²	確認日	2019年8月3日
延床面積	6,380 m ²	確認者	伊東 正太郎



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

道路境界より≧12.0m離して配置し、圧迫感を軽減した。

Q1 室内環境

使用材料はすべて「F☆☆☆☆」または、「規制対象外」とする。天井裏の措置も同様とする。

Q2 サービス性能

居室天井高さは、2.7mを確保して、居住環境に配慮した。

Q3 室外環境（敷地内）

既存緑地の維持管理を適切に管理運用する

LR1 エネルギー

病室の外部に面したガラスは、Low-e A12 複層ガラスを採用して、遮熱性を高めた。

LR2 資源・マテリアル

断熱材は「ノンフロン」とする

LR3 敷地外環境

敷地内に適切な数の駐車駐輪スペースを確保した。

その他

CASBEE-建築(新築)2016年版
医療法人 敬仁会 八代敬仁病院

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目										
Q 建築物の環境品質										2.8
Q1 室内環境							0.40		-	3.2
1 音環境						2.7	0.15	2.8	1.00	2.7
1.1 室内騒音レベル		【待合】待合室50dB(A) 【診察】診療室40dB(A) 【住居】病室35dB(A)				3.0	0.40	4.0	0.40	
1.2 遮音						1.8	0.40	1.6	0.40	
1 開口部遮音性能						3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						1.0	0.60	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	1.0	0.20	
1.3 吸音		石膏ボード、岩綿吸音板使用				4.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境						3.1	0.35	3.2	1.00	3.1
2.1 室温制御						3.2	0.50	3.4	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		【共用部】窓U:2.05、SC:0.45、壁U:0.62【住居部】窓U:3.33、SC:0.45、壁U:0.621				4.0	0.25	4.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.0	0.25	3.6	1.00	3.1
3.1 昼光利用						3.0	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		【共用部】ロビー:1.95% 【住居】病室:3.33%				3.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		ブラインドの設置				3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気環境						3.9	0.25	3.7	1.00	3.8
4.1 発生源対策						4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の積極的な採用				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.30	3.3	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		0.079>0.06(1/15)				-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙				5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.3
1 機能性						3.1	0.40	4.2	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		【住居】病室面積:9.21㎡/床(N208) 12.46㎡/床(N211)				-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		建築物移動等円滑化基準チェックリストの過半を満たす				4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観		【住居】天井高:2.7m				-	-	5.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		①ビニルクロス貼②ビニル床シート③掃除用排水口あり④ホコリの溜まりにくい設計⑤風除室扉間:2.96m⑥一室で異なる床材の使用なし⑧水切り設置 ⑩極力段差のない動線				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		④洗濯室あり⑥フロア毎に清掃用流しがある ⑦廊下にコンセント設置 ⑨⑩共用部PSあり				4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種の内、2種でBを使用、Eは未使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		①節水型器具の採用②可能な限り配管の系統を区分⑤井戸の併用				4.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	

	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.6	0.30	3.2	1.00	3.5
3.1	空間のゆとり			4.6	0.30	3.4	0.50	
	1	階高のゆとり	【共用】階高:4.2m 【住居】階高:3.5m	5.0	0.60	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	【共用】比率:0.15 【住居】比率:0.16	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2	荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3	設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく更新・修繕できる	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく更新・修繕できる	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	1.8
1	生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.6
1	建物外皮の熱負荷抑制		BPIm:0.78	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.79	3.2	0.50	-	-	3.2
4	効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
	集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	各種エネルギー消費量の内訳を把握	4.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	節水コマ+省水型便器	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
		1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
		2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	-	3.5
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン・無筋コンクリート使用	4.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能(軽量鉄骨下地)・再利用できるユ	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
		1	消火剤	-	-	-	-	
		2	発泡剤(断熱材等)	アイシネン(ノンフロンウレタンフォーム)(屋根)/ ポリスチレンフォー	5.0	0.50	-	-
		3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0
1	地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率:82%	3.7	0.33	-	-	3.7
2	地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.2	0.25	-	-	
		1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
		2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
		3	交通負荷抑制	2.0	0.25	-	-	
		4	廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
		1	騒音	3.0	1.00	-	-	
		2	振動	-	-	-	-	
		3	悪臭	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
		1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
		2	砂塵の抑制	-	-	-	-	
		3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-	
		2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	
			・光害対策ガイドラインを満たす・広告物照明の取扱いを満たす					

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 医療法人 敬仁会 八代敬仁病院

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		78
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				80.2	0.40	32.08
Q1-2.1.2	外皮性能	4.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.2	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	2.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				67.5	0.20	13.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	4.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				77.5	0.20	15.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				84.7	0.20	16.94
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	4.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
※重み係数の総和は、「1」であること。
※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数